

行財政改革特別委員会

平成25年12月19日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

子育て支援体制の整備に関する提言

保育園の民営化を含めた子育て支援体制の強化、充実を図るための行財政組織改革について提言いたします。

一 子育て支援組織の一元化について

子育て支援の範囲は広く、健康、福祉、教育の相談窓口が違うのは住民にとって大変不便利です。保護者のニーズをくみ取り、支援を強力に推し進めることができるよう、子育て支援の相談窓口を一体的に管轄する子育て支援課の創設を提案します。

二 子育て拠点施設の整備について

周辺市町では、子育て支援、福祉、健康に関わる拠点が整備され、そこに行けばほとんどのことが対応できる体制が整えられています。乳幼児健診などで保健師、栄養士が施設を移動することなく、効率的に健診業務に対応できる子育て拠点施設の整備を提案します。

三 保育園の民営化について

現在市立保育園の臨時職員数は正規職員数を上回っています。保育園を民営化することで、臨時保育士を減らすことが可能となり、健全な市立保育園の運営ができるようになります。また、民間では多様な保育需要に柔軟に対応できることから、保育園の民営化を提案します。



浜岡保育園

原子力対策特別委員会

平成25年12月19日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

中部電力が実施している津波対策工事の現場視察を行いました。

海抜18mの防波壁頂部に高上げされた防波壁は、高さ4m、長さ6mの鉄製で、重量が12トンあり、防錆対策を施した防波壁ブロックが241体基設置されるとのことです。



防波壁4m嵩上げ工事 (中部電力株式会社より提供)

海抜30mの高台に建設中の地下水槽は貯水量9千トンで、緊急時には3号機から5号機の原子炉や燃料プールに5日間給水することができ、ポンプでの送水や電源が喪失した場合における落差による自然流下送水にも対応できるとのことです。

また、浜岡原子力発電所から新規基準を踏まえた準備が整い次第、国の安全審査を受けたい旨の報告がありました。



高台への地下水槽建設工事 (中部電力株式会社より提供)

議会改革特別委員会

平成25年12月20日に委員会を開催しました。内容は次のとおりです。

一 一問一答方式について

12月3日に全委員で傍聴した富士市議会の本会議一般質問の状況を参考に、当市の方式について協議した結果、今まで通りの方式(1回目の質問で議員が答弁者に質問したい内容を一括で訊き、答弁者がその質問に一括で答え、2回目以降の再質問から一問一答方式で行う方式)が最良であるとの結論に達しました。

二 議会報告会について

掛川・磐田市議会の議会報告会に参加した議員からの報告を行い、当市での方向性を協議した結果、現在各議員が各地区で行っている地区連絡会を充実させ、全議員による議会報告会ができるよう研究をしていきます。

今後も議論を重ね、将来的には議会基本条例の制定をめざし、議会改革を進めてまいります。

一般質問

8名が登壇 市政を問う
*この一般質問は12月12日と13日に行なわれたものです。

平成26年度予算編成について (市内経済対策について)



阿南 澄男

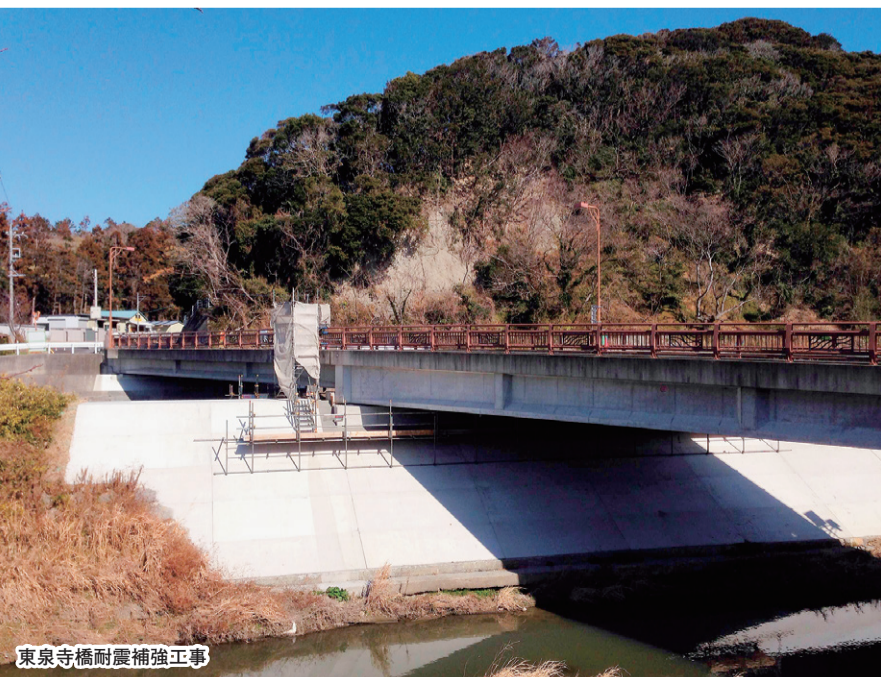
問 災害時の避難道路の改良や中小の橋梁の耐震補強と緊急車両の通行できない狭い道路の拡幅・集中豪雨に対応する都市下水路の整備と住宅リフォームへの補助などによる景気対策は

答 産み育てやすい子育て環境の拡充のために、市独自の支援策を進めていきたいと考えます。

問 市内人口を減少させない対策として、生産年齢層を対象とした新規住宅購入者に現金を支給し、住宅建築による経済効果と出生率の向上に努めるべきでは

答 転入増や転出人口抑制は重要課題として認識をしております。住宅新築による経済活性化とい

問 賃上げが期待できないなか、子育て家庭の消費税増税による負担の軽減対策として、児童手当



東泉寺橋耐震補強工事

う観点も含めて現行制度を検証し、魅力ある制度にして進めていきたいと考えます。

【1回目が一括質疑質問・一括答弁方式、2回目以降は一問一答方式】

